

一般社団法人日本調理科学会 平成 30 年度第 4 回理事会議事録

日 時：平成 31 年 1 月 26 日（土）14:00～16:30

場 所：一般社団法人日本調理科学会事務局（東京都文京区大塚 3-36-5 長島ビル 3 階）

出席者：香西みどり会長、今井悦子筆頭副会長、綾部園子副会長、中村恵子、魚住恵、時友裕紀子、飯島久美子、名倉秀子、平尾和子、磯部由香、西堀すき江、升井洋至、菊崎泰枝、次田一代、久木野睦子、山下浩子、青柳恵子、松村昌彦、三宅裕子、吉濱義雄（以上理事 20 名）
石井克枝、松本美鈴（以上監事 2 名）

欠席者：真部真里子副会長、岸田恵津、峯木眞知子、福田ひとみ、五島淑子（以上理事 5 名）

本日の理事会は、定款第 33 条 理事の過半数の出席（理事 25 名中 20 名出席）を満たし成立。

【配付資料】

資料 1：一般社団法人日本調理科学会 平成 30 年度第 3 回理事会議事録（案）

資料 2：一般社団法人日本調理科学会 平成 30 年度第 4 回理事会報告（編集委員会）

資料 3：一般社団法人日本調理科学会 平成 30 年度第 4 回理事会報告（情報管理委員会）

資料 4：一般社団法人日本調理科学会 平成 30 年度第 4 回理事会報告（次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会）

資料 5：一般社団法人日本調理科学会 平成 30 年度第 4 回理事会報告（災害時メニュー開発に関する研究委員会）

資料 6：一般社団法人日本調理科学会 平成 30 年度大会第 2 回「若手研究者発表奨励賞」受賞者発表

資料 7：一般社団法人日本調理科学会 平成 30 年度大会収支決算（案）

資料 8：2019 年度事業計画（案）

資料 9：2019 年度収支予算（案）

資料 10：2019 年度代議員総会について

資料 11：一般社団法人日本調理科学会 若手研究者発表奨励賞規程案

資料 12：一般社団法人日本調理科学会 創立 50 周年記念会計について

資料 13：一般社団法人日本調理科学会 2019 年度大会のご案内と研究発表募集

資料 14：平成元年以降の大会開催地について

資料 15：名誉会員推薦の提案（大越ひろ先生）

資料 16：名誉会員推薦の提案（渋谷祥子先生）

追加資料 1：刊行委員会の報告、クックリーサイエンスシリーズについて

追加資料 2：「伝え継ぐ 日本の家庭料理」に関する日本食糧経済新聞掲載記事及びしんぶん赤旗掲載企画記事

回収資料：平成 30 年 9 月～平成 31 年 1 月入会申込者

1. 会長挨拶

香西会長より、通常開催場所としているお茶の水女子大学が大学入試の関係で使用できないため、第 4 回理事会を学会事務局で開催することとしたとの挨拶があった。現事務局に移転した際に、事務局で理事会が開催できるように、机、いすを設置したとの経緯の説明があり、収容が可能であれば、以後も 1 月の理事会を学会事務局で開催してはどうかとの提案があった。

2. 議長、議事録作成人、署名人選出

前例により、議長は香西会長、議事録作成人は菊崎庶務担当理事、議事録署名人は香西会長、今井筆頭副会長、石井監事、松本監事とする。

3. 前回議事録確認

議事録（資料 1）を確認し、これを満場一致で了承した。

4. 議事

【報告事項】

(1) 業務執行理事からの業務執行状況に関する報告の件

香西会長より、前回理事会以降の会長の職務を執行してきたとの報告があり、今井筆頭副会長は庶務担当として、綾部副会長は学会誌編集担当として会長を補佐し職務を執行してきたとの報告があった。

(2) 常置委員会からの報告の件

1) 編集委員会

綾部副会長より、資料 2 に基づき、平成 31 年 1 月 21 日現在の投稿審査状況について報告があった。

また、電子投稿に関して、今年度は毎年申請している J-STAGE 投稿審査システムの新規利用に採択され、平成 31 年 1 月より運用を開始し、アトラス（株）との直接契約を解除するとの報告があった。年間経費が 5 万円であり、これまでより 10 万円の経費削減となるとの説明があった。

2) 情報管理委員会

次田理事より、資料 3 に基づき、2019 年度大会研究発表演題登録についてアトラス社と打合せを行い、J-STAGE への要旨のアップロードにおけるファイル形式が BIB 形式から XML(BIB-P)形式に変更され、それに伴いアップロードに必要なファイルは有償（1 要旨につき 300 円）となる旨報告された。

また、ホームページを適時更新、メール・ニュース 11 月 20 日号、1 月 21 日号を発行、転載許可の申請に対応したことが報告された。なお、今後は転載複製利用に関する権利の管理を（一社）学術著作協会に委託（経費は無料）することとなった。

(3) 特別委員会からの報告の件

1) 刊行委員会

香西会長より、追加資料 1 に基づき、委員長が的場輝佳先生から大越ひろ先生に、委員も一部交代した旨、およびクッカリーサイエンスに関する刊行委員会からのお知らせを日本調理科学会誌 Vol.51, No.6 の p73~74 に掲載したとの報告があった。

2) 規程委員会

今井副会長より、規程の変更について、審議事項で審議するとの報告があった。

(4) 研究委員会からの報告の件

1) 次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会

石井監事より、資料 4 に基づき、平成 30 年度大会で、家庭料理研究委員会による「主菜」に関する研究についてポスター発表が行われたこと、2019 年度大会では「副菜」をテーマにポスター発表を行うことが報告された。また、平成 28・29 年度ポスター発表データを収集して CD 化あるいは DVD 化し、大会時に研究委員に配付を予定していることが報告された。

2) 災害時メニュー開発に関する研究委員会

石井監事より、資料 5 に基づき、平成 30 年度大会において、8 月 31 日（金）に NPO キャンパーのデモ調理（昼食 100 食分）を実施したこと、デモ調理時のアンケートをまとめたことが報告された。また、大会時の報告会において、災害時の活動形態について、被災地ならびにその周辺の会員の大学や短期大学等との連携を模索することを提案したところ、何名かの応募があり、今後拡大委員会を開催予定である旨報告された。

(5) 若手研究者発表奨励賞の件

今井筆頭副会長より、資料 6 に基づき、平成 30 年度大会の若手研究者発表奨励賞受賞者 3 名の決定について報告があった。また、受賞者のコメントが主として共同発表者でもある指導教員への感謝であったため、今後は、研究でがんばった点などを記載してもらうように依頼するとの説明があった。

【審議事項】

(1) 新入会員承認の件

香西会長より、回覧資料に基づき、平成 30 年 9 月～31 年 1 月の新入会員（正会員 12 名、学生会員 6 名、団体会員 3）の説明があり、所属等の確認を行い、これを満場一致で承認した。

(2) 平成 30 年度大会決算及び余剰金の件

升井大会実行委員長より、平成 30 年度大会の決算報告があり、余剰金が 2,303,244 円であることが報告された。香西会長より、余剰金を本部 8 割、近畿支部 2 割の割合で配分することが提案され、これを満場一致で承認した。

(3) 2019 年度事業計画（案）・予算（案）の件

今井筆頭副会長より、2019 年度事業計画（案）が提案され、年間のスケジュールについて説明があり、これを満場一致で承認した。続いて 2019 年度収支予算（案）が提案され、平成 30 年度の予算額との各科目における増減額について説明があった。増減額の大きい科目は、経常収益の受取著者負担金（投稿者の増加を見込んで増額）、年次大会収益（平成 30 年度は学会余剰金の上乗せ分を計上したが、2019 年度は上乗せ分を計上していないため減額）、経常費用の編集費（2019 年度は J-STAGE 投稿審査システムに採択されたため減額）、常置委員会費（2019 年度は遠方から来る編集委員が増えるため増額）、学会刊行物等出版経費（平成 30 年度は「料理のなんでも小事典」増版による上乗せがあったが、2019 年度は増版がないため減額）である。予算案について審議し、これを満場一致で承認した。

(4) 2019 年度代議員総会等の件

香西会長より、資料 10 に基づき、以下の説明があった。

1) 代議員総会の開催

2019 年 6 月 2 日（日）にお茶の水女子大学本館 306 室において代議員総会を開催すること、議題内容は平成 30 年度事業報告、2019 年度事業計画及び収支予算書の報告、2019 年度学会賞の報告、平成 30 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認、名誉会員の承認、その他であること、開催の招集を電磁的方法（メール等）で行い、出席できない代議員は議決権行使または委任に関する所定の書類に署名、捺印後 PDF 化して事務局にメール添付、あるいは郵送によって議決権行使する案が提案された。本提案について審議し、これを満場一致で承認した。

2) 電磁的理事会の開催

2019 年 4 月に「平成 30 年度事業報告」「平成 30 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書」の監査が実施され、事業報告はその後「理事会の承認を経て、代議員総会へ報告」、会計書類は「理事会の承認を経て、代議員総会で承認を受ける」こととなる。そのため、2019 年 4 月に行う監査が終了してから 5 月上旬に電磁的方法による臨時理事会を開催する旨の提案があり、これを満場一致で承認した。

3) 講演会

代議員総会と同日開催の講演会の講師の 1 名は前年度学会賞受賞者の綾部園子先生とする旨提案があり、これを満場一致で承認した。もう 1 つの講演テーマについて審議し、オリンピック（スポーツ）と食事に関するテーマはどうであろうとの意見が出された。これを踏まえ、会長・副会長で検討し、3 月中に報告することを満場一致で承認した。

4) 第 1 回理事会の開催

2019 年度第 1 回理事会を、6 月 2 日（日）、10:30～11:30 にお茶の水女子大学本館 209 室で開催する旨提案があり、これを満場一致で承認した。

(5) 規程 IV 顕彰の件

今井筆頭副会長より、資料 11 に基づき、一般社団法人日本調理科学会若手研究者発表奨励賞規程（案）が提案され、審査委員、審査方法、受賞者決定に関する項などについて議論した。今回の議論を踏まえ、規程（案）を作成し、次回の理事会で審議することを満場一致で承認した。

(6) 創立 50 周年記念出版の件

香西会長より、資料 12 に基づき、創立 50 周年記念会計について説明があった。残金（2,526,587 円）

については、記念出版「伝え継ぐ 日本の家庭料理」シリーズの本学会誌あるいは他学会誌への広告、次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会による CD 化あるいは DVD 化のための補填等に充当することが提案され、これを満場一致で承認した。

また、追加資料 2 が配布され、香西会長による記念出版に関する記事が、日本食糧新聞やしんぶん赤旗に掲載される旨の報告があった。

(7) 次期（2019 年度）大会の件

久木野九州支部長より、資料 13 に基づき、「2019 年度大会のご案内と研究発表募集案」について提案があり、審議後これを満場一致で承認した。口頭発表を OHC ではなく PC で行うこと、演題分類方法については大会実行委員会に一任することとなった。

(8) 次々期（2020 年度）大会の件

香西会長より、資料 14 に基づき、2020 年度大会（東北・北海道支部担当）は 8 月 27～28 日に福島県郡山市のビックパレットふくしまで開催されること、2021 年度は関東支部が担当することが提案され、これを満場一致で承認した。

(9) 2019 年度学会賞選考委員会の件

香西会長より、2019 年度学会賞選考委員会設置の提案があり、満場一致で承認された。選考委員長は今井筆頭副会長、委員は飯島理事、西堀理事、魚住理事、菊崎理事で構成されることとなった。

(10) 名誉会員の推薦の件

香西会長より、資料 15, 16 に基づき、大越ひろ先生、渋川祥子先生を名誉会員として推薦する旨の提案があり、これを満場一致で承認した。

【その他】

(1) 各種支部報告の提出の件

今井筆頭副会長より、各支部の平成 30 年度事業報告・決算（いずれも案でもいい）、2019 年度の事業計画案・予算案を 3 月 29 日までに事務局に提出するよう、各支部長への依頼があった。

(2) 学会賞候補、奨励賞候補、功労賞候補の推薦の件

今井筆頭副会長より、学会賞、奨励賞候補の推薦依頼が日本調理科学会誌 2 月号（1 号）に掲載されるので、是非推薦をお願いしたいとの依頼があった。また、功労賞については各支部長に候補者を推薦してほしいとの依頼があった。

(3) 本年 4 月に新元号が公示されるが、それ以前に次年度の事業案、予算案等の作成や承認が必要なため、次年度は西暦の 2019 年度を使用することとなった。2020 年度以降については、他の学会等の動向も踏まえて、西暦と新元号のどちらを使用するかを決めていくことになった。

議事録署名人	会長	香西 みどり	印
	筆頭副会長	今井 悦子	印
	監事	石井 克枝	印
	監事	松本 美鈴	印